**会津学知会歴史散策 2026.10.18**
**会津学知会主催・福島同窓会共催**

# 善龍寺を訪ねて歴史散策報告書

今回の会津学知会の歴史散策は、善龍寺を訪れました。善龍寺は、会津戦争の際に西郷頼母の一族が自刃し、その中で唯一生き残った四女・細布子が保護された寺として知られています。境内には頼母一族の悲劇をしのぶ供養碑や史跡が残されており、この出来事は白虎隊の悲劇と並んで「会津婦女子の悲劇」として語り継がれています。






この悲劇を語る上で忘れることができないのが、妻・千重子の辞世の歌です。

**「なよ竹の 風にまかする 身ながらも たわまぬ節は ありとこそ聞け」**

「私はなよ竹のように弱い女性の身ではありますが、竹に曲がらない節があるように、
女性にも決して曲げてはならない信念があるのです」

